

# 成城国際比較刑事司法 ワークショップ

日時：2017(平成29)年2月14日(火)午後3～5時

場所：成城大学7号館1階716教室

講師：ディミトリ・ヴァンオーバーベック教授  
(ルーベン・カソリック大学、ベルギー)

使用言語：日本語 参加費無料

テーマ：

刑事裁判への市民参加に関する国際比較

ー ベルギーにおける陪審制の廃止と裁判員制度を手がかりとして

指定討論者：四宮 啓(弁護士)

飯 考行(専修大学准教授)

裁判員裁判制度開始から8年目を迎えようとしている日本と、一昨年に陪審制度を事実上廃止したベルギーとの比較を通じて、刑事裁判における市民参加の意義や効果、裁判制度と社会との関係など、多面的に考察をおこなう機会をもちたいと思います。ヴァンオーバーベック教授は日本の裁判員制度を研究、一昨年にはRoutledge社から研究書を出版されました。

刑事司法制度に関心をお持ちの方であればどなたでも参加できます。



アクセス：

小田急線成城学園前駅徒歩3分  
\* お車でのご来場はご遠慮ください

問い合わせ先：

成城大学法学部刑事訴訟法研究室  
03-3482-9709